

とらいあんどる



2016 年 7 ・ 8 月

一音会ミュージックスクール発行

「発表会の魔法」

今年もまた、発表会の時期がやってきました。

発表会の思い出は特別です。

この時期になると、発表会の思い出がよみがえり、その思い出は 50 歳近い私の心をも、一気に子ども時代に引き戻します。

発表会の不安、緊張、興奮・・・これらは、他のどの思い出ともちがいます。特別です。

はじめての発表会の時に、私は 1 つ、大失敗をしています。

そのことを 40 年以上もの間、誰に

もうちあけられずに苦しんでいたのですが、昨年のこの時期、「とらいあんどる」の場をかりて吐きだして、実は楽になりました。

私を長年、苦しめてきた思い出もまた、母の深い愛情をかみしめる、格別な思い出であったことに気づいたので

はじめての発表会で私は、わけがわからないまま舞台上がり、不安と緊張で、つい「ママ～」と叫んでしまいました。

健康なお母さんであれば、ずっと舞台に進み出て、子どもによりそい、演奏を見守り、仲良く手をつないで退場

したことでしょう。ほほえましい光景です。

しかし、そうはなりませんでした。

のちに完全に歩けなくなった私の母は、当時、すでに歩けなくなりつつありました。杖をつきながら、ほんの少しずつしか進めない状態だったのです。

その時の発表会の思い出は、痛みをこらえて、私のために舞台中央まで歩いてきてくれた母の姿です。

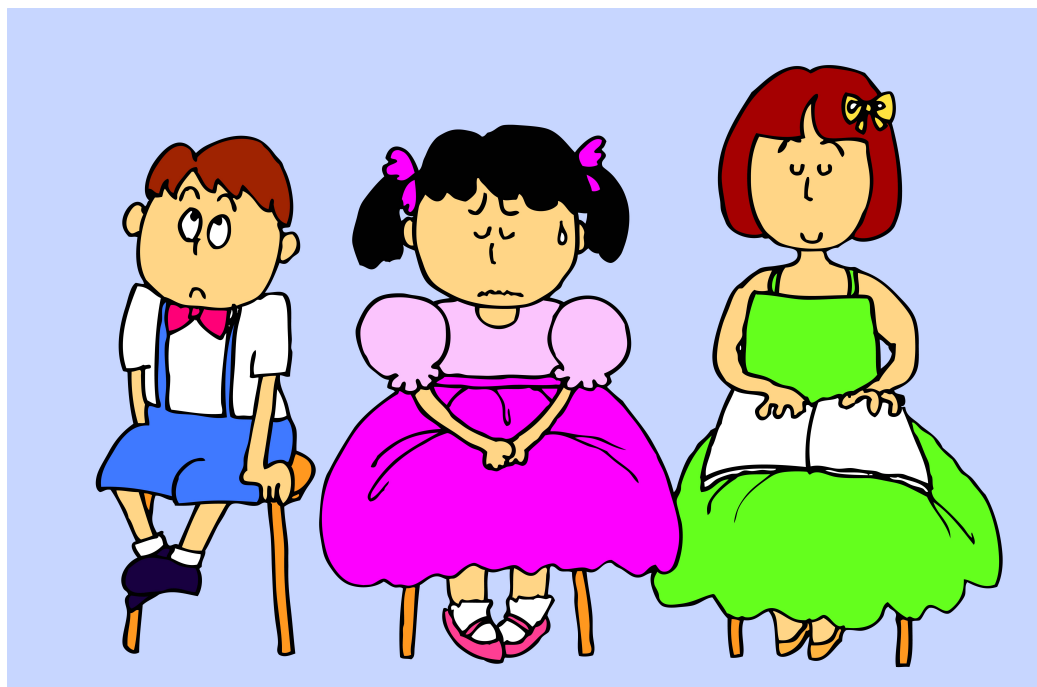
母がピアノのところにたどり着くまで、長い長い時間でした。私が曲を弾いている時間より、はるかに長かったことは確かです。

実際、演奏のことは、一切、おぼえていません。おぼえているのは、母の姿だけです。

しかし、その年にかぎらず、私にとって発表会の思い出は、どこか焦点がズレています。

思い出すのは、演奏以外のことばかりです。演奏のことや舞台上のことは、案外、思い出すことがありません。何の曲を弾いたかさえ、あいまいです。

私は毎年、発表会プログラムの表紙の絵を描かせていただいているのですが、今年は、私がよく思い出す発表会の光景を描いてみました。



2016年発表会プログラム表紙

舞台そでで、待機しているところで
す。

このシーンの思い出なら、いくらで
も出てきます。しかも、昨日のことの
ように記憶が鮮明です。

あおざめた顔で、必死に考えている
のです。

何を考えているかという、「どうや
ったら、この場から逃げられるか」で
す。

私はひきょうな子どもでしたので、
舞台そでに来てもお、逃げることは
かり考えています。

「みんないるし、こっそり逃げるの
はムリだなあ・・・会場が急に火事と
かにならないかなあ・・・ムリだろ
うなあ・・・アナウンスの先生にお願
いして、とばしてもらえないかなあ・・・
でも、なんていったらいいんだろ
う・・・がんばってねとか、いわれち
ゃったら、よけい逃げられなくなっ
ちゃうなあ・・・おなかが痛いといおう
か・・・でも、先生たちが心配して、
おおさわぎしたら面倒だなあ・・・ト
イレに行きたいといおうか・・・でも、

トイレから戻ってこない、またおお
さわぎになっちゃうだろうなあ・・・
結局、逃げられないし・・・よけい注
目されちゃったりするから、目立つこ
とはできないなあ・・・いっそ、発表
会が終わるまで、ずっとトイレにたて
こもるのはどうだろう？・・・変かな
あ・・・やっぱり、おなかが痛いこと
にして・・・あ、なんだかほんとに痛
くなってきちゃったよう・・・」

ろくなことを考えていません。

他にもよく考えていたのは、演奏に
失敗した時のいいわけです。なぜか、
失敗するのが前提です。

いろいろな失敗パターンを想像して
は、いいわけを考えたりしています。

毎年、さんざん考えているのですが、
良いいいわけを思いついたことはあり
ませんでした。

そんな時、まわりを見ると、どの子
もみんな上手そうにみえます。

あの子は、なんか落ち着いている。
きっと自信があるんだ。上手にちが
い。

あの子は、大人っぽい表紙の楽譜を

持っている。上手にちがいない。

あの子は、なんとなくかしこそうな顔をしている。上手にちがいない。

あの子は、メガネをかけているから、かしこい。上手にちがいない。

もう理屈はめちゃくちゃです。

「ああ、私だけが下手なんだ。まったくもう、なんで発表会、出るなんていっちゃったんだろう！」

頭をかかえた頃、順番がまわってきます。

この瞬間、地球が滅亡してくれることを、全力で願います。

でも、地球は滅亡してくれず、私はふるえる足を前に踏み出すのです。

こんなうしろ向きな子どもでも、演奏が終わるとほっとして、ついさっきまで地球の滅亡を本気で願っていたことを忘れます。

そして、「アヤコちゃん、上手になったじゃないの」などとほめられ、「えへへ・・・」と照れ笑いをするのです。

ピースサインで写真にうつったりします。

そしてまた、うきうきとした気分で

練習をはじめ、次の年、うっかり発表会に申し込んでしまうのです。

そしてまた、舞台そでに来ると、仮病を使おうかどうか迷うのです。

その繰り返しです。

発表会の思い出は、どれも特別です。舞台上だけが思い出ではありません。

舞台に上がるまでにも、たくさんの思い出ができます。

曲を決めた時、おうちで練習していた時、なかなか上手にならなくて、かんしゃくをおこした時、レッスンで先生から「もっとがんばらないと間に合わない」といわれてしまった時、上手になってほめられた時・・・すべてが特別な思い出です。

その思い出が魔法をかけて、人を強くすると、私は思います。

私はあんなにがんばれた、あの緊張を私は乗り越えた、1つ1つが自信となって、次のチャレンジの時に、不思議な力をもたらしてくれます。

この夏、すべての生徒さんに、“発表会の魔法”がかかりますように。

(江口 彩子)

◆もうすぐ「ピアノ発表会」です

ピアノ発表会は、下記の通りです。

7月28日(木)・29日(金)・30日(土)・31日(日)

かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール

(京成線「青砥」駅より徒歩約5分)

はやいもので、発表会まで、1か月を切りました。「リハーサル・トライ」も、すでにはじまっています。

忙しい生活の中で、練習時間を確保するのは、ひと苦労だと思いますが、短い時間であっても、効果的に使えば、かならず上手になれます。この時期になると焦りの気持ちが出てしまうと思いますが、ゆっくり練習や部分練習など、丁寧な練習を重ねてください。

スタッフも、最後まで全力で指導にあたらさせていただきます。そして、すべての生徒さんが、当日、悔いのない発表ができますように願っています。



先週より、「ピアノ発表会 しおり」と「ピアノ発表会 プログラム」をお配りしています。主担当の先生からお渡しするようにしていますので、まだお手元にはない方は、主担当の先生にお声かけください。

「ピアノ発表会」では、すべての生徒さんにすてきな演奏をしていただくことが大きな目標ですが、まずは、お一人のケガ人も出さずに、無事に進行させることも大切なことです。

生徒さんが舞台上上がるまで、また演奏を終えてご家族のもとに戻るまで、誘導には多くのスタッフを配しています。小学校3年生以下の生徒さんは、演奏後、ご家族の方にお迎えにきていただくことをお願いしています。事故を防ぐため、原則として、お一人でおかえしすることはありません。かならずお迎えにいらしてください。

舞台裏や舞台そでには、たくさんのスタッフがいるのですが、案外、スタッフの目が届きにくいのが、客席です。スタッフも、客席を見まわるようにしていますが、やはりご家族の皆さまのご協力が不可欠です。会場で不審な人物を見かけた場合には、会場のスタッフにご連絡ください。

その他、当日、ご不安なこと、ご不明なことがありましたら、遠慮なくスタッフにおっしゃってください。一音会Tシャツを着ている者はすべて、ご対応できます。

◆演奏をきくことも勉強です

「ピアノ発表会」の醍醐味は、多くのお友だちの演奏をきけることです。先生の演奏をきくチャンスでもあります。

自分の演奏が終わるとほっとして、何もかもが終わったような気分になってしまうと思いますが、ぜひ客席でお友だちの演奏をきいてください。

知らない曲との出会いも、たくさんあるでしょう。その中から、好きな曲を見つけられるかもしれません。また、同じ曲でも、弾く人がちがうと、表現がまるでちがったりすることもあります。ほかの人の演奏をきくことは、またとない勉強の機会です。自分の出演する部は、最後まできいてみてください。お時間に余裕があれば、別の

部もきいていただきたいと思います。

そして、お友だちにたくさんの拍手をおくってあげてください。客席からたくさんの拍手がわく、すてきな発表会にしましょう。

なお、演奏中の出入りや立ち歩きは、おひかえください。客席への出入りは、曲と曲の合間をお願いします。フラッシュ撮影や音の出る撮影も、弾いている生徒さんをびっくりさせて、演奏に影響を与えてしまうことがありますので、ご遠慮ください。

教室ではプロのカメラマンを手配し、演奏中の写真と映像を撮っています。最近、タブレットなど液晶画面の大きな撮影機器が普及していますが、教室撮影の映像に、客席の液晶画面がうつりこみ、仕上がりを損なうことがあります。大きな液晶画面での撮影はどうかおひかえください。



◆体調管理をお願いします

ここに来て、急に猛暑がやってきた印象です。暑さで体力をうばわれるのか、体調を崩してしまう生徒さんが、続出しています。

また、湿気のせいで季節はずれの肺炎が、小さなお子さまを中心に、全国的に流行っているようです。生徒さんの中でも、肺炎にかかってしまわれた方がいます。

発表会でもっとも残念なことは、ご出演予定だった生徒さんが、ご病気で出演がかなわなくなることです。どうか、発表会までの期間、普段以上に体調管理に気を配ってお過ごしください。

お一人も欠けることなく、すべての生徒さんが元気に舞台上がれることを祈っております。

◆スケジュールを今一度、ご確認ください

「ピアノ発表会」が終わると同時に、教室は夏休みになります。一音会本部の夏休みは8月6日（土）～14日（日）です。その間は、お問い合わせにお応えできなくなりますことを、ご了承ください。

夏休みあけのレッスンは、8月17日（水）からです。お間違えのないよう、今一度、年間スケジュール表をご確認ください。皆さまにとって、楽しい夏休みになりますことを、心から願っています。

7月						1	2 ▲
	3	4	5	6	7	8	9 ■
	10 ○	11	12	13	14	15	16 ▲
	17 ◎	18	19	20	21	22	23 ■
	24 ○	25	26	27	28 発	29 発	30 発
	31 発						
8月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20 ▲
	21 ◎	22	23	24	25	26	27 ■
	28 ○	29	30	31			

スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp

電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。